

基本設計への

意見募集結果をお知らせします

図総務課新庁舎建設推進室 ☎43-7025

市では、7月10日から24日までの間「大館市本庁舎建設基本設計」に対するパブリックコメントを実施し、7人からご意見をいただきました。

皆さんから寄せられた主なご意見と、それらに対する市の考えを紹介します。なお、全てのご意見と市の考えは、市ホームページに掲載しているほか、総務課(新庁舎建設推進室)でもご覧いただけます。

今後、お寄せいただいたご意見・ご要望を参考に実施設計へと進めます。

パブリックコメント実施結果

意見を寄せた人数	7人
提出方法	持参 1人
	ファクス 2人
	電子メール 4人
意見の数(要旨)	29件

大館を象徴する歴史や風物詩を、 未来へのまちづくりとともに 見守り続ける庁舎

◆四つのコンセプト

1. 歴史まちづくりと市民を結ぶ庁舎
2. 100年間市民の安全と安心を見守る庁舎
3. にぎわいと機能が共存する市民が創る庁舎
4. 大館の自然の恵みを生かすエコ庁舎

配置(外構)計画について

【意見】

○バス停を市立総合病院のようにすれ
ばにぎわうのではないか。

○路線バスや高速バスが停車するバス
ターミナル機能が欲しい。

○バス停が新庁舎出入り口から離れず
ぎっている。

【市の考え】

駐車場については、警察との協議の
際に「頻繁に路線バスが庁舎敷地内の
駐車場に進入し、旋回していくことは
危険である」との指導を受けています。

基本設計では、本庁舎の前面にある
市道の拡幅や、バス停前の車道部分を
一部拡大した停車帯(バスベイ)を設け

るなど、安全と利便性の向上を目的と
して、平成36年度の駐車場完成を目指
しています。

【意見】

○せせらぎの堀(水盤)の設置は、建設
費と維持費の増、広場としての利用
を望むなどの理由で反対である。

【市の考え】

せせらぎの堀は旧大館城の歴史の再
生をイメージし、井戸水を水源に浅瀬
として、子どもも遊べるものとしてい
ます。井戸水はトイレの洗浄水などに
も利用し維持費の低減を図ります。

また、今回の設計では安全性の面か
ら車道と歩行者用道路を分離して、桂
城公園内への車の進入は東(武道館側)
からのみとし、その分、南と西からの
歩行者用道路を広くすることで「親水
広場」として市民の皆さんが利用でき
るように計画しています。

【意見】

○駐車場の出入り口は市役所前の交差
点からなるべく遠ざけるべき。

○緊急車両入り口は常時一般車両も利
用できるように。

【市の考え】

駐車場出入り口については、警察と
の協議により、横断歩道の位置と車道
の停止線、交差点の渋滞、バス停車中
の視界不良など、さまざまな観点から
歩行者の安全を第一に考えた結果の配
置としています。

また、国道側からの臨時進入口を常
時利用すると、故意ではなくても出
口としても利用され、非常に危険であ

ると指導されています。

平面計画について

【意 見】

○各階への移動が容易にできるような配慮は十分か。

【市の考え】

市民用としてエレベーターを2台配置するなど、全館ユニバーサルデザイン(年齢や性別、障害の有無に関わらず、たくさんの人が利用しやすい設備)とした計画としています。

【意 見】

○市民協働スペースに食堂とコーヒーショップ、それにコンビニを設置してほしい。

【市の考え】

市民協働スペースは、市民利用のほか期日前投票所や大館市の物産品展示場など、さまざまな利用を想定しています。店舗などは、コンパクト化を図るうえで、導入を断念しました。

【意 見】

○階数を増やして、建設部も配置してほしい。

○経費削減、抑制の努力の跡が感じられない。1フロア分を削って5階建てにするべき。

【市の考え】

この事業は将来の人口減少を見据えながら、現在の分庁舎を可能な限り活用し、平成52年度までに全部署を集約することを目指して、面積と事業費をできるだけ抑えています。

新庁舎の正職員数であれば本来約9000平方メートルを要しますが、分庁舎の活用で事業費を抑えながら移行させることとして、約7000平方メートルとしました。最終的に7320平方メートルになりますが、コンパクトな庁舎として最大限考慮しています。

庁舎の運営について

【意 見】

○新庁舎では「敷地内でも禁煙」をお願いしたい。

【市の考え】

現時点では建物内禁煙としています。喫煙に関しては、国の方針も踏まえて、あらゆる立場の方々への考えを基に検討します。

【意 見】

○展望ロビーを観光行事などに合わせて開放してはどうか。

【市の考え】

セキュリティ(安全性の確保)を考慮したうえで開放となりますが、休日のイベントなどに合わせた開放も検討します。

【意 見】

○動力源をオール電化にしてしまうと、ライフラインが1本だけになってしまう。

【市の考え】

防災計画について

【意 見】

○動力源をオール電化にしてしまうと、ライフラインが1本だけになってしまう。

【市の考え】

新庁舎の動力源は、過去の震災時などに防災拠点や水道施設等、重要施設が優先して復旧された状況を踏まえて、早期復旧が見込める電気をメイン動力源としました。

【意 見】

○市の防災計画の運営マニュアルと整合性が取れていること。

【市の考え】

○4階に災害対策本部と防災備品倉庫を置くのは反対。

今後の事業予定

平成29年10月	実施設計開始
平成30年度末	新庁舎建設工事開始
平成33年5月	新庁舎開庁
平成33年度内	現庁舎解体及び発掘調査開始
平成36年度内	駐車場完成



【市の考え】

新庁舎の動力源は、過去の震災時などに防災拠点や水道施設等、重要施設が優先して復旧された状況を踏まえて、早期復旧が見込める電気をメイン動力源としました。

【意 見】

○市の防災計画の運営マニュアルと整合性が取れていること。

【市の考え】

○4階に災害対策本部と防災備品倉庫を置くのは反対。

【市の考え】

本庁舎は、市の地域防災計画に合わせて、災害対策本部の機能を十分に發揮して維持するため、避難所としての指定はしていません。そのため、4階の備蓄は災害支援活

【市の考え】

動を行う職員などのためのもので、備蓄品の使用は庁内での限定的使用となり、通常時の下層階の面積確保の観点から4階に配置となりました(被災者や避難者への備蓄品は市内各地に分散して備蓄しています)。

【意 見】

実施設計では、災害対策本部としての機能について詳細を検討することとしています。

そのほかの意見

- 健康課の本庁舎内への設置
- 交流モールの解放
- 敷地内のモニタメントの移設
- 屋根付きバイク駐車場の設置
- など